

話 題

ま ち の

木星の衛星も見えたよ

中央公民館が主催する親子の広場第二弾「天体観望会」が、五月二十七日、催し物広場で行われました。これは春夏秋冬の星座や星を観察しようというもので、親子二十組が参加。一回目のこの日は、木星などを観察しました。

天体望遠鏡を通して見た木星は、しま模様も鮮やかに二つの衛星までくっきり。子供たちは「見えた、見えた」と大喜びです。「星空へのあこがれは親子共通の気持ち」と話す講師の小千田節男さん。参加者たちは夜空に輝く星を見つめながら、ロマンと科学の世界に浸っていました。



地元の素顔、再発見

大通地区公民館のオープン記念事業「大通探検ウォークラリー」が、五月二十四日に行われました。参加したのは六十四組二百五十七人。あいにくの雨でしたが、大通地区を一周する四キロのコースに挑みました。

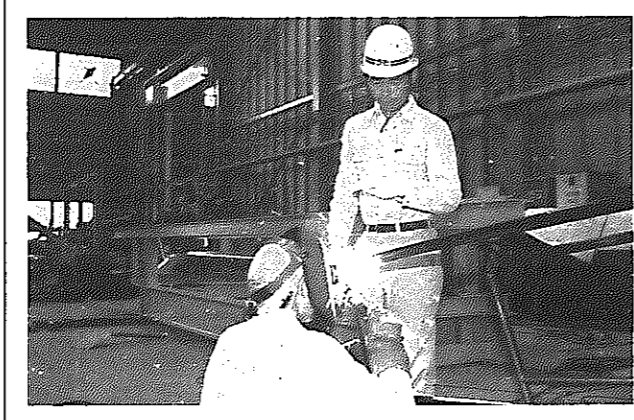
参加者はコース図を片手にチェックポイントを探し、問題を解きます。旧太田水溝わきの通りに名前を付けて新名所が誕生したり、川沿いを歩きながら名(迷)句を詠んだり。優勝は大通南の新田健富さんチーム。参加者は「雨の中で疲れたけれど、楽しみながら地元の新しい発見ができた」と満足した表情でした。



溶接技術全国一を目指す

第三回全国溶接技術大会(十月中旬・沖縄県で開催)に本県代表として、袖山政典さん(中央通2・三十歳)が出場します。袖山さんは、四月十九日の県大会で最優秀賞を受賞し、全国への切符を手に入れたもの。

明和工業(株)に勤める袖山さんは「溶接の仕事に就いて十五年目。大会へは三回目の挑戦でした。上がりやすい性格なので、全国大会では十分練習を積んで自信を持って臨みたい」と抱負を語ります。田中勝工場長は「県のレベルは高い。会社の代表、県の代表として、精いっぱい頑張ってもらいたい」と激励しています。



大きくなったら消防士

茨曾根保育園の園児三十四人が、五月二十六日、白根市消防本部を訪れました。園児たちは間近に見る消防車に「わー、すごい! 本物の消防車だ!」「やっぱり本物はスゲーな!」と大歓声。

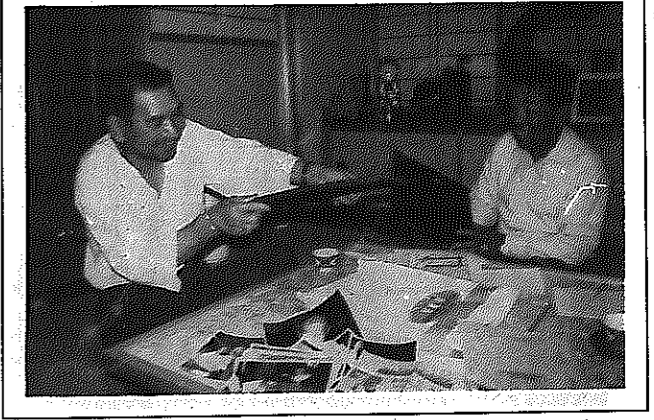
園児たちは消防署員から消防士や消防署の仕事について話を聞きました。興味はやっぱり消防車。本物の消防車のハンドルを握ったり、救急車に乗ったり大喜びです。消防車の前で記念撮影をし、消防署を後にするころには、みんな「大きくなったら消防士になるんだ」と夢を膨らませていました。



かわら版の版木発見

茨曾根で明治の末に発行されたかわら版の版木が見つかりました。この版木を所蔵しているのは新村の玉木春衛さん。版木は明治三十一年発行の「島崎心中」と三十二年の「加茂川心中」の二枚です。このかわら版は、春衛さんの祖父の寅蔵さんが、二十代のころ発行していたものです。

寅蔵さんは、昭和五十三年に百二歳で亡くなるまで、「あめ屋のじいちゃん」として親しまれた人。百歳になっても現役の露店商として活躍していた寅蔵さんの、若き日をしのぶ品物として「何かの役に立ってくれば」と話す春衛さんです。

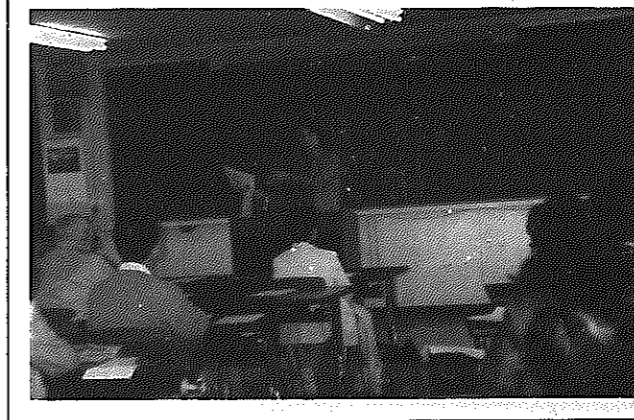


坂口安吾への思いを語る

市立図書館では、五月十六日と二十三日に「坂口安吾を語る」と題した文芸セミナーを青年教育センターで開催。このセミナーには、四十三人の市民が参加しました。

講師の若月忠信さん(新潟東高校教諭)は、新潟日報水曜日の夕刊で「安吾への旅」を連載中。九州、京都などを取材して回ったときのエピソードを中心に、安吾への思いを熱く語り続けていただきました。

図書館では、十一月にも上越教育大学の伊丹末雄さんを講師に「万葉集の魅力」と題したセミナーを予定しています。ご期待ください。



心に響いた津軽三味線

五月十九日、カルチャーセンターで高橋竹山ふれあいコンサートが開かれました。このコンサートは市教育委員会などの後援で、「高橋竹山を聞く会」が主催したものです。ポスターの制作から舞台設置まで、すべて市民の手による文字どおりの触れ合いコンサートとなりました。

満員の観衆は、氏の奏でる津軽三味線の哀愁を帯びながらも躍動するばちさばきに感動。「津軽じよんがら節」や「津軽あいや節」など、なじみの津軽民謡に思わず一緒に歌を口ずさむ人も。予定時間を超えての熱演に大きな拍手を送っていました。



地域と子育てを議論

(株)白根青年会議所では五月二十一日、カルチャーセンターで「子育て」をテーマに、講演会とパネルディスカッションを行いました。この催しには子育て中の若い母親など約百五十人が参加。熱心に耳を傾けました。

まず、花積正夫氏が「子供のほめ方、しかり方」と題し講演。子育てとは子供の心を育てること、親と子供が「共感」することが大切と、ユーモアたっぷりに話します。続くパネルディスカッションは、PTA役員など四人のパネラーが、子供と地域の問題、PTAの在り方などについて、活発に議論しました。

